

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
30-65	小学校	道徳	道徳	第3学年
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
17 教出	道徳 304	小学どうとく3 はばたこう明日へ		

1. 編修の基本方針

本教科書は、教育基本法に示された「教育の目標（教育基本法第二条第1～5号）」の達成を目指し、以下の方針に基づいて編修しました。

次の時代を切り開いていく資質・能力を身に付ける教科書

これからの時代を生きていく児童たちにとっては、自分とは異なるさまざまな価値観や言語、文化を背景とする人たちと相互に尊重し合うことが、今まで以上に重要となります。本教科書では、地域・学校や児童の実態に応じて、こうした資質・能力を身に付けることができるように教科書の構成や教材内容、学習方法の提示を工夫しています。教科書を活用して学習することで、幅広い知識と教養を身に付け、豊かな情操と道徳心を培うことができるようにしています。

本教科書では、児童が他者とのコミュニケーションを通して、自分の言葉で表現する力をつけるとともに、自分と異なる意見にも接して、他者と相互に理解し合うことの重要性を確認することができます。また、他者とともに学習するなかでより深く考え、児童一人一人が自分を成長させることができます。このような学習を通して、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培うことができるようにします。



▲3年 16 自分をコントロール (pp.66-67)

考え、議論する姿勢を身に付ける教科書

人としての生き方や社会のあり方について、多様な価値観が存在することを認識しつつ、自ら考え、他者と対話し協働しながら、よりよい方向を探し続ける資質・能力を身に付けることができるようにしています。このような学習を通して、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んじる態度を養うことができますようにしています。

あなたならできる

1 あなたならできる

「お母さん、どうして、体そう服をわすれていることを教えてくれなかつたの？」
お母さんにつたりする自分も、またなげなげな顔をした。
そんなほろに、お母さんはこう言った。
「あら、わすれたのはお母さんのせい？ いららる気持ちをはわらけど、どうすればいいか自分で考えてみてよ。」

▲3年 1 あなたならできる (pp.6-7)

現代的な課題と向き合う教科書

児童をとりまくさまざまな社会的・教育的課題を多く取り上げています。いじめ問題や情報モラルに関する学習を通して、自他の敬愛と協力を重んじる態度を養うことができます。また、かけがえない生命についての学習を通して、生命を尊び、自然を大切にすることを、そしてグローバル化が進む社会についての学習を通して、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができますようにしています。

友だちと助け合おう

4 貝がら

三年生に遅れ、クラスがわかってしまった。ぼくのとりのせきには、中山くんがわかってきた。ぼくは、中山くんのことを、ほとんど知らなかった。一年生の終わりに、どこかその学校から転校してきた。はじめて中山くんとなり金つてわわわわわ。ぼくは、いろいろなことを聞いてみる。中山くんは、ぼくよりも先に、昔をたいて、縦にうたうたうたうた。なんだか、ぼくに話しかけるのをやがっているみたいだ。た。ぼくは、こちらがなやうとうしているのに。と、むねのせて思った。しかし、そのうちに、中山くんは、ぼく。

「お母さん、どうして、体そう服をわすれていることを教えてくれなかつたの？」
お母さんにつたりする自分も、またなげなげな顔をした。
そんなほろに、お母さんはこう言った。
「あら、わすれたのはお母さんのせい？ いららる気持ちをはわらけど、どうすればいいか自分で考えてみてよ。」

▲3年 4 貝がら (pp.18-19)

問題解決的な学習を重視した教科書

自らの人生や社会において答えが定まっていない問いを受け止め、多様な他者と議論を重ねて探求し、納得できる解答を得るための資質・能力を養うことができます。このような学習を通して、真理を求める態度を養うこと、そして主体的に社会の形成に参画し、発展に寄与する態度を養うことができますようにしています。

社会のきまりを守ろう

25 新聞係

「お母さん、どうして、体そう服をわすれていることを教えてくれなかつたの？」
お母さんにつたりする自分も、またなげなげな顔をした。
そんなほろに、お母さんはこう言った。
「あら、わすれたのはお母さんのせい？ いららる気持ちをはわらけど、どうすればいいか自分で考えてみてよ。」

▲3年 ○きまりを守るわけを考えよう・25 新聞係 (pp.106-107)

2. 対照表

図書の構成・内容と教育基本法第二条の第1号から第5号との対応を示します。

教育基本法第二条

〈第1号〉幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。

〈第2号〉個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。

〈第3号〉正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。

〈第4号〉生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと。

〈第5号〉伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。

図書の構成・内容	特に意を用いた点	該当箇所
三年生のどうとくの学習が始まるよ どうとくではこんな学習をするよ	三年生の道徳の学習に向けての心がまえをもつことで、これからの道徳の学習で、豊かな情操と道徳心を培えるようにしました。〈第1号〉	pp.2-3 pp.4-5
自分でできることを考えて 1 あなたならできる	・生活を見直して忘れ物をしなくなった児童を題材にして、自分でできることは自分でやることに対する意欲を高め、自主及び自律の精神を養えるようにしました。〈第2号〉	pp.6-9
2 おそろしいゲームいぞん	・情報機器に依存する児童の生活を題材にして、安全に気をつけて、節度のある生活をする大切さについて考えることで、健やかな身体を養い、自主及び自律の精神を養えるようにしました。〈第1号、2号〉	pp.10-13
3 ロバを売りに行く親子	・ロバを売りにいく親子の行動を通して、周囲の意見に惑わされずよく考えて行動することの大切さを学び、自主及び自律の精神を養えるようにしました。〈第2号〉	pp.14-17
友だちと助け合って 4 貝がら	・転校してきた同級生との話を題材にして、友達と理解し合い、なかよくすることについて考え、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養えるようにしました。〈第3号〉	pp.18-21
5 たっきゅうは四人まで	・友達との卓球についての児童のやりとりを通して、友情についての考えを深め、自他の敬愛と協力を重んずることができるようになりました。〈第3号〉	pp.22-25
相手を思いやって ○思いやる心について考えよう	・困っている人を思いやる心について考えることで、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養えるようにしました。〈第3号〉	p.26
6 気づく心	・困っている人に気づいた児童の行動を題材にして、親切な行動と自分自身にある思いやりの心について考え、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養えるようにしました。〈第3号〉	pp.27-29
7 わたしたちの「わ」(スキル)	・車いすで生活する友達に対する児童の行動を題材にして、登場人物の立場を演じてみることで、本当の親切とは何かを考え、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養えるようにしました。〈第3号〉	pp.30-33
しぜんを大切に 8 ベランダのツバメ	ツバメのひなの巣立ちをめぐる学級でのできごとを題材にして、自然や動植物を大切にすることについて考えることで、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養えるようにしました。〈第4号〉	pp.34-37
楽しい学級や学校をつくる 9 えがおいっぱい	学級目標に関する話し合いを題材にして、みんなで協力し合って楽しい学級をつくることよさを学び、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養えるようにしました。〈第3号〉	pp.38-41
家族できょうりよくし合って 10 わたしの妹、かな	家庭でのお手伝いと妹とのできごとを通して、家族の温かさについて考え、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養えるようにしました。〈第3号〉	pp.42-45

図書の構成・内容	特に意を用いた点	該当箇所
国やふるさとをあいする 11 エイサーの心	<ul style="list-style-type: none"> 地域で大切にされ、全国で親しまれているエイサーを題材にして、郷土の伝統や文化のよさについて考えることで、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた郷土を愛する態度を養えるようにしました。〈第5号〉 	pp.46-50
12 わたしの見たニッポン	<ul style="list-style-type: none"> 外国人の人が思う日本の文化の魅力を題材にして、日本の文化を改めて考えることで、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国を愛する態度を養えるようにしました。〈第5号〉 	pp.51-53
真心をもって 13 三本のかさ	<ul style="list-style-type: none"> かさの貸し借りのやりとりを通して、礼儀の大切さや真心をこめたふるまいのよさを学び、豊かな情操と道徳心を培えるようにしました。〈第1号〉 	pp.54-57
14 どうしていけないのかな (スキル)	<ul style="list-style-type: none"> 社会科見学で訪れたスーパーのできごとを題材にし、演じてみることで、相手のことを考えてふるまうことの大切さについて考え、豊かな情操と道徳心を培えるようにしました。〈第1号〉 	pp.58-61
自分らしさをのびして ○自分らしさを見つけよう	<ul style="list-style-type: none"> 「自分らしさ」について考えることで、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばすことができるようにしました。〈第2号〉 	p.62
15 ぼくらしさってなんだろう	<ul style="list-style-type: none"> 「自分らしさ」を題材にして、自分のよさを伸ばしていくことの大切さを考えることで、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばすことができるようにしました。〈第2号〉 	pp.63-65
正しいことは自信をもって 16 自分をコントロール	<ul style="list-style-type: none"> 公園のできごとを通して、自分が正しいと判断したことは、自信をもって発言することのよさについて考えることで、自律の精神を養い、正義と責任、自他の敬愛を重んずる態度を養えるようにしました。〈第2号、3号〉 	pp.66-69
17 よわむし太郎	<ul style="list-style-type: none"> 太郎の行動を通して、勇気をもって正しい行動を行うことの大切さを学ぶことで、自律の精神を養い、正義と責任、自他の敬愛を重んずる態度を養えるようにしました。〈第2号、3号〉 	pp.70-73
分けへだてなく 18 悪いのはわたしじゃない	<ul style="list-style-type: none"> 友達へのいじめを題材にして、偏った接し方をして周囲の人を傷つけないことの大切さについて考え、正義と責任、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養えるようにしました。〈第3号〉 	pp.74-78
19 ドッジボール大会	<ul style="list-style-type: none"> ドッジボール大会のできごとを題材にして、男女の間で偏見を持たずに公正、公平に接することの大切さについて考え、正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養えるようにしました。〈第3号〉 	pp.79-83
こころざしをもって 20 楽しめばすきになる	<ul style="list-style-type: none"> 漢字の学習の楽しさを見つけ、ねばり強く取り組む児童を題材にして、自分でやりがいを見つけて努力することのよさについて考え、自主及び自律の精神を養うことができるようにしました。〈第2号〉 	pp.84-87
21 世の中のために (西郷隆盛)	<ul style="list-style-type: none"> 西郷隆盛の子ども時代の話の題材にして、つらいことがあっても目標に向かってねばり強く取り組む姿勢を学び、自主及び自律の精神を養うことができるようにしました。〈第2号〉 	pp.88-91
美しいものにふれて 22 花さき山	<p>絵本作品を通して、人の心の美しさについて考え、豊かな情操と道徳心を培うことができるようにしました。〈第1号〉</p>	pp.92-97
命を大切に 23 ヒキガエルとロバ	<ul style="list-style-type: none"> ヒキガエルの命を題材として、命あるものを大切にすることについて考え、豊かな情操と道徳心を培い、生命を尊ぶ態度を養うことができるようにしました。〈第1号、4号〉 	pp.98-101
24 光祐くんのアサガオ	<ul style="list-style-type: none"> 病気とたたかった光祐くんの実話を通して、一生けん命生きることのすばらしさや受けつがれていく命の尊さについて考え、豊かな情操と道徳心を培い、生命を尊ぶ態度を養うことができるようにしました。〈第1号、4号〉 	pp.102-105
社会のきまりを守って ○きまりを守るわけを考えよう	<ul style="list-style-type: none"> きまりがあることの意義について考えることで、正義と責任、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養えるようにしました。〈第3号〉 	p.106
25 新聞係	<ul style="list-style-type: none"> 新聞係の仕事を題材にして、新聞を作る際のルールについて考え、正義と責任、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養えるようにしました。〈第3号〉 	pp.107-109
相手とわかり合って 26 今度はぼくの番かな	<p>友達からの遊びの誘いを断るやりとりを題材にして、自分の意見を相手に伝えることや相手のことを理解しようとするものの大切さを学び、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養えるようにしました。〈第3号〉</p>	pp.110-113

図書の構成・内容	特に意を用いた点	該当箇所
正直に明るい心で 27 まどガラスと魚	まどガラスをわってしまった後の児童の行動を通して、児童の明るい心で生活することのよさを学び、豊かな情操と道徳心を培えるようにしました。〈第1号〉	pp.114-117
みんなのためにはたらこう 28 ぴっかぴか	学校での掃除を題材にして、自らが働くことの大切さを学ぶことで、自主及び自律の精神を養うとともに、勤労を重んずる態度を養うことができるようにしました。〈第2号〉	pp.118-121
世界の人々や文化に関心をもつ 29 いつかオーストラリアへ	外国からホームステイに来た学生との交流を題材にして、他国に関心を持ち、他国を尊重する態度を養えるようにしました。〈第5号〉	pp.122-125
ありがとうの気持ちをもって 30 公園のひみつ	公園の掃除をするおじいちゃんたちを題材にして、生活を支える人達への感謝の思いを深め、豊かな情操と道徳心を培えるようにしました。〈第1号〉	pp.126-129
自分でできることを考えて 31 時を計り、時を生かす	水時計を題材にして、時間を大切に生活することについて考え、自主及び自律の精神を養うことができるようにしました。〈第2号〉	pp.130-131
国やふるさとをあいする 32 昔からの味をつたえる野菜	伝統野菜を題材にして、地域の伝統と文化を尊重し、郷土を愛する態度を養えるようにしました。〈第5号〉	pp.132-135
国やふるさとをあいする 33 お祭りにこめられている思い	大切に守られている伝統行事を題材にして、地域の伝統と文化を尊重し、郷土を愛する態度を養えるようにしました。〈第5号〉	pp.136-138
社会のきまりを守って 34 音のこうずい	電車の中でのマナーを題材にして、公共の場でマナーを守ることの大切さを学び、公共の精神を養えるようにしました。〈第3号〉	pp.139-141
ありがとうの気持ちをもって 35 心のコモった給食	給食に対する感謝の気持ちを題材にして、自分の生活を支えている人への感謝の気持ちを学び、豊かな情操と道徳心を培うことができるようにしました。〈第1号〉	pp.142-143
学びのきろく 一年間のどうとくの学習をふり返ろう	道徳の学習を振り返ることで、豊かな情操と道徳心を培えるようにしました。〈第1号〉	pp.144-146 p.147

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

教育基本法第五条に示す義務教育の目的や学校教育法第二十一条に示す義務教育の目標などを達成するため、以下の点について編修上の工夫をしました。

ユニバーサルデザイン（UD）による多様性への配慮

○カラーユニバーサルデザイン（CUD）や特別支援教育への対応

色覚等の特性を踏まえた、判読しやすい配色やレイアウト、表現方法、文字（ユニバーサルデザインフォント）などの工夫により、全ての児童にとって学びやすい紙面づくりに配慮しています。

○「パラリンアート」の取り組み

さまざまな人々との共生について理解を深める観点から、障がいのある人が描いた作品（障がい者アート）を教科書に掲載することにより「パラリンアート」の活動支援にも取り組んでいます。

地球となかよし

教科書の印刷には、環境にやさしい再生紙と植物油インキを使用し、地球環境への負荷軽減に配慮しています。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
30-65	小学校	道徳	道徳	第3学年
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
17 教出	道徳 304	小学どうとく 3 はばたこう明日へ		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

編修の基本方針

○学びやすい

内容項目との関連が明確になっていますので、先生も児童も教材の主題を意識して授業に臨むことができます。

○多様性の重視

さまざまな考え方をもちた児童の立場を考慮して、多面的・多角的に考えられる教材を数多く用意しました。自分の考えを述べて、友達の考えを聞いて、みんなで話し合う充実した道徳の授業を行うことができます。

○楽しく学べる紙面

楽しく円滑な授業が行えるように、見開きに1点はイラストや写真を用いています。イラストは教材の特徴に合わせて、児童が教材の内容をイメージしやすいよう配慮して作成しています。



▲3年 8 ベランダのツバメ (pp.34-35)

教科書の全体構成

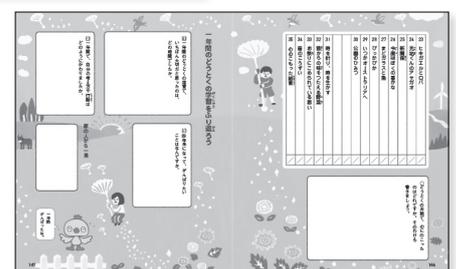
○道徳開きと振り返り

巻頭には道徳開きのページを4ページ設けました。一年間の道徳授業の最初に、現在の自分を知ることから始めます。いちばん大切なことを考えることから一年間の道徳の授業が始まります。次のページでは、道徳の授業でどのような学習をするのかを確認し、授業のイメージができるようにします。また、巻末には振り返りのページを設けました。一年間の道徳の学習でいちばん大切だと



◀3年 三年生のどうとく
の学習が始まるよ
(pp.2-3)

3年 学びのきろく▶
一年間のどうとくの
学習をふり返ろう
(pp.146-147)



思ったことを記入することで、心の成長をみとることができます。そして次の学年に進級したときになりたい自分を想定して、次の学年へと道徳の学習をつないでいきます。

○教材

教材は内容項目ごとにまとめて掲載しています。学年のはじめは自分自身に関する教材を多く配置するなど、児童の発達段階を考慮した配列にしてあります。また、小学校の年間行事（運動会、遠足、発表会など）と関連させて指導ができるよう配置してあります。

多様で体験的な学習ができるようにモラルスキルトレーニングを各所に取り入れました。また、読み物教材にも役割演技を取り入れるなど教材内容に工夫を施しました。



▲3年 7 わたしたちの「わ」(pp.32-33)

○導入（学習のねらい）の明確化

教材ごとにキャラクター（とりどり先生）による導入（主題への誘い）を設けました。教材を読む前に、どのような価値について学習するのか、どんなことを考えるのかを意識できるようにした気づきの発問です。



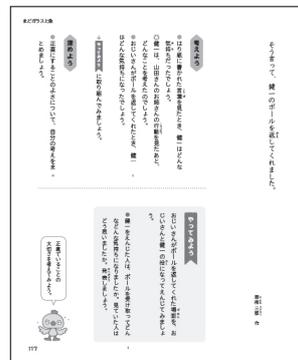
▲3年 〇自分らしさを見つけよう (p.62)



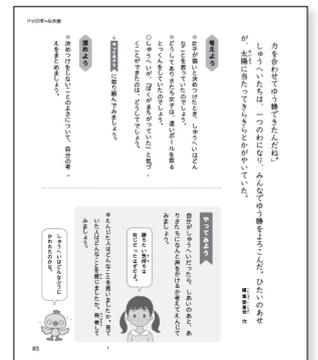
▲3年 5 たつきゅうは四人まで (p.22)

○学びの手引き

授業の学びの流れを可視化した発問を教材ごとに設けました。教材本文をもとにして考え議論する問いとしての「考えよう」から、道徳的価値そのものへの問い、価値理解を深めることができる設問としての「深めよう」、今後の行動や他教科と連携した発展的な学習につなげる「つなげよう」で構成しています。また、役割演技をすることによって道徳的価値の理解をより深めることを目指す「やってみよう」は「考えよう」の一項目として設け、児童が考えるヒントとなるキャラクターの発言なども記載しました。手引きの発問は、教科書全体を通して問題解決的な学習ができるように作成してあります。



▲3年 27 まどガラスと魚 (p.117)



▲3年 19 ドッジボール大会 (p.83)

○補充教材

それぞれの道徳的価値の理解をより深めるための補充教材を巻末に5本用意しました。学校や地域の実態を考慮して、弾力的に活用することができます。



▲3年 31 時を計り、時を生かす (pp.130-131)

題材の特色 3年

○道徳の授業で繰り返し指導されてきた教材

長く教育現場で指導され、親しまれてきた教材（定番教材）を厳選して掲載しています。



▲3年 17 よわむし太郎 (pp.70-71)

定番教材以外にも、良質な自作教材を多数掲載しています。

この他の定番教材

- 3 ロバを売りに行く親子 (pp.14-17)
- 4 貝がら (pp.18-21)
- 5 たつきゅうは四人まで (pp.22-25)
- 22 花さき山 (pp.92-97)
- 23 ヒキガエルとロバ (pp.98-101)
- 27 まどガラスと魚 (pp.114-117)

○現代的な課題などに対応する多様な教材

現代的な課題に対応するための教材として、「いじめをなくす」「情報モラル」「生命尊重」の3点に特に重きをおき、該当する教材には目次と教材にマークをつけてわかりやすく示しました。

また、教科書全体を通して、多様な教材を掲載しています。

• 生命の尊厳

- 23 ヒキガエルとロバ (pp.98-101)
- 24 光祐くんのアサガオ (pp.102-105)

• 自然

- 8 ベランダのツバメ (pp.34-37)

• 伝統と文化

- 11 エイサーの心 (pp.46-50)
- 12 わたしの見たニッポン (pp.51-53)
- 32 昔からの味をつたえる野菜 (pp.132-135)
- 33 お祭りにこめられている思い (pp.136-138)

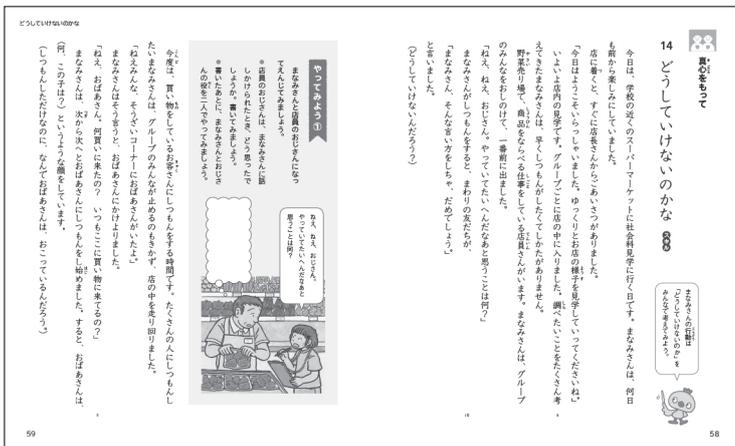
• 先人の伝記・スポーツ

- 15 ぼくらしさってなんだろう (pp.63-65)

• 情報化への対応

- 25 新聞係 (pp.107-109)

○体験的な学習のできる教材



▲3年 14 どうしていけないのかな (pp.58-59)

他にも体験的な学習ができる教材を多数掲載しました。

- 5 たつきゅうは四人まで (pp.22-25)
- 7 わたしたちの「わ」 (pp.30-33)
- 8 ベランダのツバメ (pp.34-37)
- 10 わたしの妹、かな (pp.42-45)
- 16 自分をコントロール (pp.66-69)
- 18 悪いのはわたしじゃない (pp.74-78)
- 19 ドッジボール大会 (pp.79-83)
- 23 ヒキガエルとロバ (pp.98-101)
- 30 公園のひみつ (pp.126-129)

2. 対照表

図書の構成・内容と学習指導要領の内容との対応を示します。

- A 主として自分自身に関すること
- B 主として人との関わりに関すること
- C 主として集団や社会との関わりに関すること
- D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
三年生のどうとくの学習が始まるよ どうとくではこんな学習をするよ	全般	pp.2-3 pp.4-5	—
自分でできることを考えて 1 あなたならできる 2 おそろしいゲームいぞん 3 ロバを売りに行く親子	A [節度, 節制] 自分でできることは自分でやり, 安全に気を付け, よく考えて行動し, 節度のある生活をする事。	pp.6-9 pp.10-13 pp.14-17	3
友だちと助け合って 4 貝がら 5 たつきゅうは四人まで	B [友情, 信頼] 友達と互いに理解し, 信頼し, 助け合うこと。	pp.18-21 pp.22-25	2
相手を思いやって ○思いやる心について考えよう 6 気づく心 7 わたしたちの「わ」(スキル)	B [親切, 思いやり] 相手のことを思いやり, 進んで親切にすること。	p.26 pp.27-29 pp.30-33	2
しぜんを大切に 8 ベランダのツバメ	D [自然愛護] 自然のすばらしさや不思議さを感じ取り, 自然や動植物を大切にすること。	pp.34-37	1
楽しい学級や学校をつくる 9 えがおいっぱい	C [よりよい学校生活, 集団生活の充実] 先生や学校の人々を敬愛し, みんなで協力し合って楽しい学級や学校をつくること。	pp.38-41	1
家族できょうりよくし合って 10 わたしの妹, かな	C [家族愛, 家庭生活の充実] 父母, 祖父母を敬愛し, 家族みんなで協力し合って楽しい家庭をつくること。	pp.42-45	1
国やふるさとをあいする 11 エイサーの心 12 わたしの見たニッポン	C [伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度] 我が国や郷土の伝統と文化を大切にし, 国や郷土を愛する心をもつこと。	pp.46-50 pp.51-53	2
真心をもって 13 三本のかさ 14 どうしていけないのかな(スキル)	B [礼儀] 礼儀の大切さを知り, 誰に対しても真心をもって接すること。	pp.54-57 pp.58-61	2
自分らしさをのびして ○自分らしさを見つけよう 15 ぼくらしさってなんだろう	A [個性の伸長] 自分の特徴に気づき, 長所を伸ばすこと。	p.62 pp.63-65	1
正しいことは自信をもって 16 自分をコントロール 17 よわむし太郎	A [善悪の判断, 自律, 自由と責任] 正しいと判断したことは, 自信をもって行うこと。	pp.66-69 pp.70-73	2
分けへだてなく 18 悪いのはわたしじゃない 19 ドッジボール大会	C [公正, 公平, 社会正義] 誰に対しても分け隔てをせず, 公正, 公平な態度で接すること。	pp.74-78 pp.79-83	2
こころざしをもって 20 楽しめばすきになる 21 世の中ののために(西郷隆盛)	A [希望と勇気, 努力と強い意志] 自分でやろうと決めた目標に向かって, 強い意志をもち, 粘り強くやり抜くこと。	pp.84-87 pp.88-91	2

美しいものにふれて 22 花さき山	D [感動, 畏敬の念] 美しいものや気高いものに感動する心をもつこと。	pp.92-97	1
命を大切に 23 ヒキガエルとロバ 24 光祐くんのアサガオ	D [生命の尊さ] 生命の尊さを知り, 生命あるものを大切にすること。	pp.98-101 pp.102-105	2
社会のきまりを守って ○きまりを守るわけを考えよう 25 新聞係	C [規則の尊重] 約束や社会のきまりの意義を理解し, それらを守ること。	pp.106 pp.107-109	1
相手とわかり合って 26 今度はぼくの番かな	B [相互理解, 寛容] 自分の考えや意見を相手に伝えるとき, 相手のことを理解し, 自分と異なる意見も大切にすること。	pp.110-113	1
正直に明るい心で 27 まどガラスと魚	A [正直, 誠実] 過ちは素直に改め, 正直に明るい心で生活すること。	pp.114-117	1
みんなのためにはたらこう 28 ぴっかぴか	C [勤労, 公共の精神] 働くことの大切さを知り, 進んでみんなのために働くこと。	pp.118-121	1
世界の人々や文化に関心をもつ 29 いつかオーストラリアへ	C [国際理解, 国際親善] 他国の人々や文化に親しみ, 関心をもつこと。	pp.122-125	1
ありがとうの気持ちをもって 30 公園のひみつ	B [感謝] 家族など生活を支えてくれている人々や現在の生活を築いてくれた高齢者に, 尊敬と感謝の気持ちをもって接すること。	pp.126-129	1
自分でできることを考えて 31 時を計り, 時を生かす	A [節度, 節制] 自分でできることは自分でやり, 安全に気を付け, よく考えて行動し, 節度のある生活をする。	pp.130-131	1
国やふるさとをあいする 32 昔からの味をつたえる野菜	C [伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度] 我が国や郷土の伝統と文化を大切に, 国や郷土を愛する心をもつこと。	pp.132-135	1
国やふるさとをあいする 33 お祭りにこめられている思い	C [伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度] 我が国や郷土の伝統と文化を大切に, 国や郷土を愛する心をもつこと。	pp.136-138	1
社会のきまりを守って 34 音のこうずい	C [規則の尊重] 約束や社会のきまりの意義を理解し, それらを守ること。	pp.139-141	1
ありがとうの気持ちをもって 35 心のこもった給食	B [感謝] 家族など生活を支えてくれている人々や現在の生活を築いてくれた高齢者に, 尊敬と感謝の気持ちをもって接すること。	pp.142-143	1
学びのきろく 一年間のどうとくの学習をふり返ろう	全般	pp.144-146 p.147	—
		計	35